

# 電気式生ごみ処理機利用者アンケート 調査結果報告書

平成 23 年 1 月

徳島市市民環境部生活環境課

## 目 次

1	アンケートの実施概要	1
2	調査結果の概要	2
3	調査結果	4

## 1 アンケートの実施概要

---

この調査は、電気式生ごみ処理機（以下「処理機」という）の利用状況を調査し、生ごみの減量効果や使用後の感想、意見などを検証し、その結果を今後の事業の活性化とさらなる生ごみ減量化推進のための参考とすることを目的として、市の処理機購入費補助制度を利用して購入した方を対象に実施したものである。

### 調査対象者

平成 17 年度から平成 21 年度の間に、市の処理機購入費補助制度を利用して購入した方の中から無作為で抽出

### 調査人数

250 名（各年度 50 名ずつ）

### 調査方法

調査票を郵送にて配布し、返信用封筒で回収

### 調査時期

平成 22 年 11 月（約 2 週間）

### 回答者数

140 名

（回答者の購入年度別人数）

H17 年度購入者 30 名

H18 年度購入者 20 名

H19 年度購入者 26 名

H20 年度購入者 30 名

H21 年度購入者 27 名

不明 7 名

### 回答率

56.0%

## 2 調査結果の概要

---

### 処理機を利用している世帯構成について

年齢は 50 代～60 代の方が 54%を占めており、世帯人数は 2～3 人の割合が 60%となっている（問 1、2）。

また、住まいの形態は 81%の方が一戸建てに居住しており、集合住宅には処理機がまだ普及していないことがわかった（問 3）。

生ごみの臭いなどへの対処方法として購入し、出来た生成物は堆肥として利用  
ごみの臭いや保管場所などの問題に対処したいという動機で処理機を購入される  
方が最も多かった（問 4）。

また、処理機を選ぶ際には、処理後に出来た生成物を堆肥として家庭菜園などに  
利用できることや操作のしやすさが重要となっていることがわかった（問 14）。

生成物の堆肥としての効果は、74%の方が「堆肥として効果がある」と答えてお  
り、有効活用できることがわかる（問 19）。

### 補助制度の広報には「広報とくしま」が効果的

「広報とくしま」からの情報で補助制度を知った方が 72%となっており、補助制  
度の周知には広報紙が効果的であることがわかった。また、販売店から紹介された  
と答えた方が 10%となった（問 5）。

### 生ごみの減量に大きな効果がみられる

発生した生ごみのほとんど全てを処理機に投入している方が 52%となった（問 7）。  
また、処理機を使用してから、燃やせるごみの収集日に出す野菜クズなどの生ごみ  
がほとんどなくなったと答えた方が最も多く、生ごみの減量に大きな効果があるこ  
とがわかった（問 16）。

### キッチンに処理機を設置する方が最も多い

過半数の方が処理機をキッチンに設置している（問 10）。また、処理機の処理音や  
臭いなどへの対処から、屋外などに設置している方もいた。ただし、屋外などへの  
設置の場合、処理音などが出る場合があるので、集合住宅に居住されている方は注  
意が必要という声もあった。

### **購入した処理機について**

現在も、購入した処理機を使用されている方が 88%を占めており、購入後、継続して使用していることがわかった（問 9）。

処理機メーカーは A 社が最も多く 77%を占めた（問 11）。

処理方式は 92%の方が「乾燥式」を選んでいる（問 12）。また、故障などで買い替えをする場合でも、約 80%の方が「乾燥式」に買い替えたいと答えており、「乾燥式」の需要が高いことがわかった（問 23）。

処理機の使い勝手については、「使いやすい、使いやすかった」と答えた方が 79%となった（問 20）。ただし、購入した処理機の問題点としては、「生ごみの処理時間が長い」、「音が気になる」などの様々な問題点が出ている（問 21）。

### **故障などの場合には再申請希望者が多い**

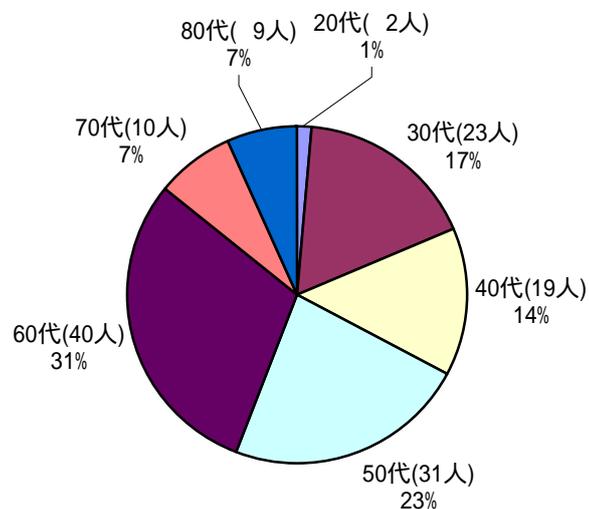
78%の方が故障などの場合再購入したいと答えており、各世帯で処理機の必要性が高いことがわかる（問 22）。しかし、現在の補助制度がなくなると買い替えないと答えた方は 56%になっており、補助制度は今後も継続する必要があると思われる（問 24）。

また、前述のように再購入したい方が大半ではあるが、故障などの理由があれば補助の再申請が可能であることを知らない方が 85%となっていた（問 29）。今後は、再申請のルールを明確にし、周知する必要があると思われる。

### 3 調査結果

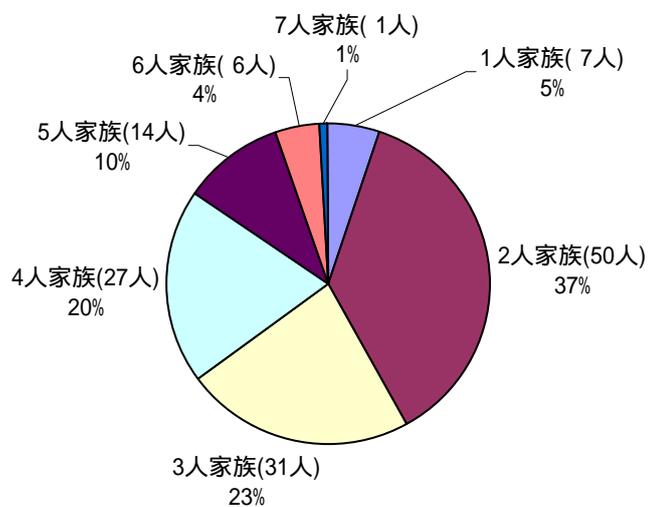
#### 問1 主に利用している方の年齢はおいくつですか？

60代が最も多くなっており、50代と60代を併せると54%となり、過半数を占めている。



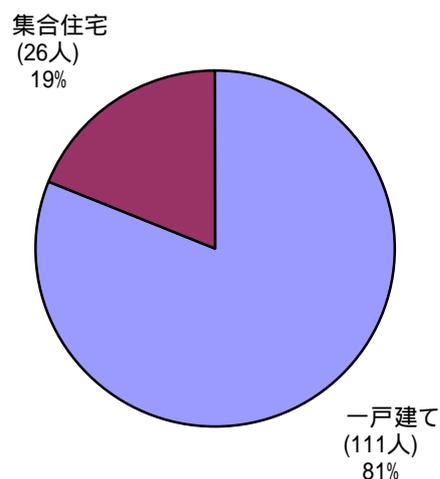
#### 問2 ご家族は何人ですか？

制度を利用した世帯は、2人家族が最も多く、次いで3人家族となっている。2~3人家族の割合が60%となっている。



#### 問3 お住まいの形態は？

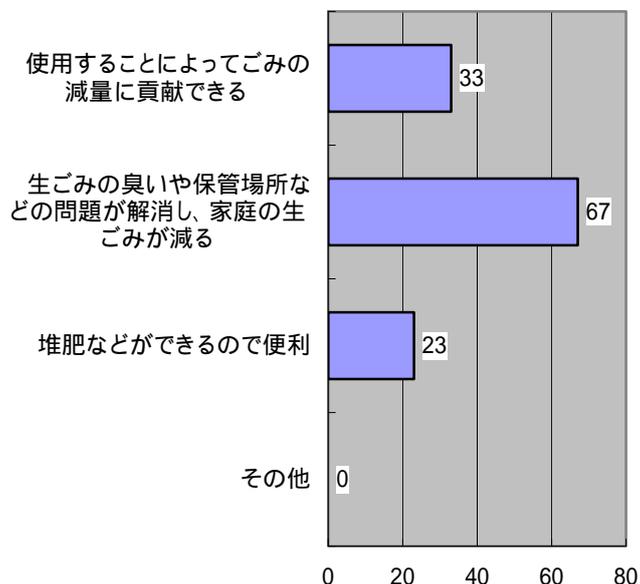
制度を利用した方の81%が一戸建て住宅に居住している。



**問4 処理機の補助申請をした主な動機を1つ選んでください。**

多くの方が家庭から出る生ごみの臭いなどの問題への対処として補助申請をしたことがわかる。

また、「使用することによってごみの減量に貢献できる」と答えの方が次いで多く、市民のごみ減量に対する関心の高さがうかがえる。



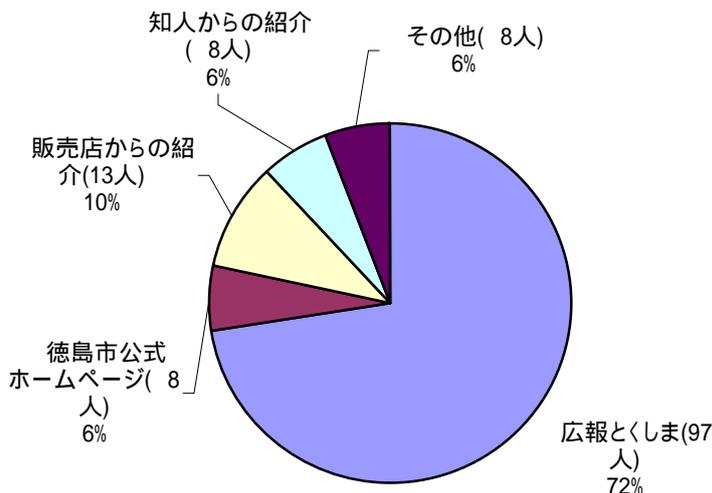
**問5 補助制度はどこで知りましたか？（補助金額は、購入金額の2分の1。上限3万円。）**

「広報とくしま」と答えの方が72%となっており、補助制度を広く認知してもらうためには広報とくしまが効果的だとわかる。

また、「販売店からの紹介」と答えの方が10%となっており、今後、販売店に一層の協力を依頼する必要があると思われる。

その他

- ・ テレビニュース
- ・ インターネット
- ・ 近所の人から聞いた
- ・ 娘が買ってくれた
- ・ 前から使っていた（2台目）
- ・ 主人が知っていた
- ・ 新聞



**問6 野菜クズなどの生ごみの発生量はどのくらいですか？**

およその平均的な量を最も分かりやすい欄にご記入ください。

	45 ごみ袋	レジ袋	三角コーナー	その他( )
1日 あたり	( ) 個	( ) 個	( ) 杯	( )
( )日 あたり	( ) 個	( ) 個	( ) 杯	( )

各家庭から発生する生ごみの量を以下のとおり換算すると、1世帯あたり約1,254 $\text{g}$ となる。問6に対する回答は136名から得られた。

【45 ごみ袋いっぱいに入るごみの量を3,500 $\text{g}$ 、レジ袋いっぱいを2,000 $\text{g}$ 、三角コーナーいっぱいを800 $\text{g}$ とし、以下のとおり換算する。

$$45 \quad (2.1 \text{ 袋}) \times 3,500 \text{ g} = 7,350 \text{ g}$$

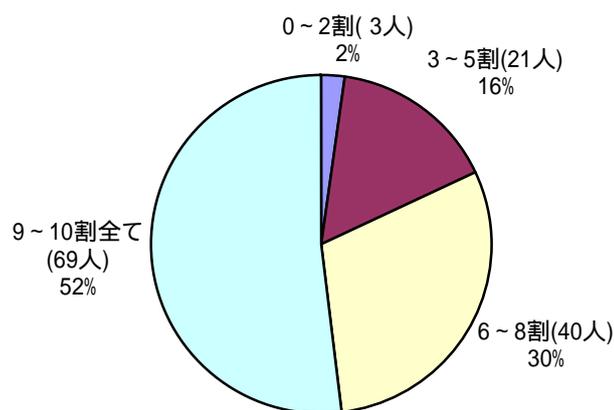
$$\text{レジ袋} \quad (24.8 \text{ 袋}) \times 2,000 \text{ g} = 49,600 \text{ g}$$

$$\text{三角コーナー} \quad (142 \text{ 杯}) \times 800 \text{ g} = 113,600 \text{ g}$$

$$(7,350 \text{ g} + 49,600 \text{ g} + 113,600 \text{ g}) \div 136 \text{ 世帯} = 1,254.04 \text{ g}$$

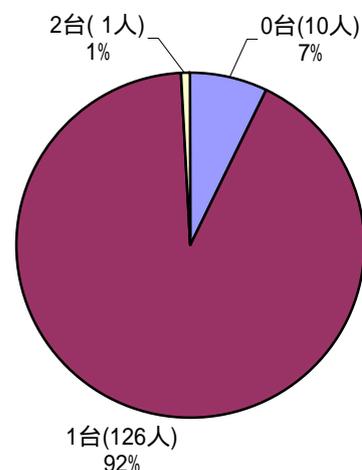
**問7 発生した生ごみのうち、どのくらいを処理機に投入されていますか？または、投入されていましたか？**

9～10割全てを投入と答えた方が50%を超え、6～8割投入しているという方を併せると約80%を占める。このことから、ほとんどの方が発生した生ごみの大半を処理機に投入していることがわかる。



**問8 ご自宅には何台の処理機を設置されていますか？既に撤去された方は「0」とお答えください。**

現在、1台設置している世帯が92%となっている。発生した生ごみを概ね1台で処理することが可能と思われる。



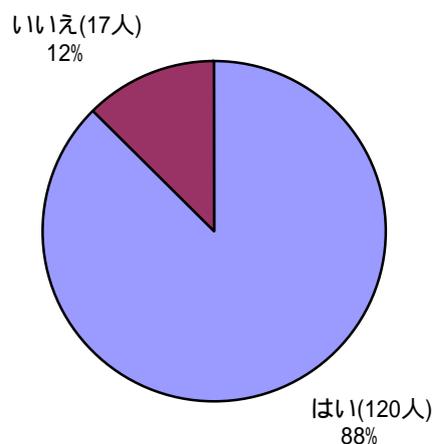
### 問9 現在も、処理機を使用されていますか？

制度を利用した 88%の方が、現在も処理機を使用しており、処理機の必要性、有効性が多くの世帯であると思われる。

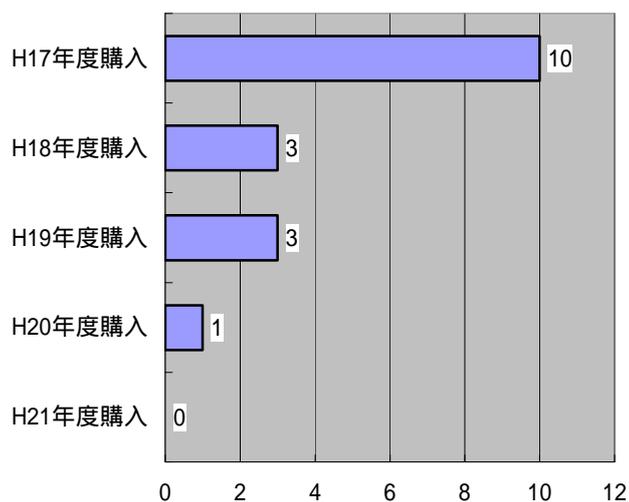
また、処理機を使用していないと答えた 17 人の購入年度別人数のグラフが右のとおりで、H17 年度に購入した方が最も多くなっている。回答者 140 人のうち H17 年度に購入した方は 30 人であったので、H17 年度購入者の 3 人に 1 人は処理機の使用をやめていることがわかった。

平成 17 年度購入者が使用をやめた理由は次のとおり。

- ・ 故障した（6 人）
- ・ 処理機で処理した生成物を畑に埋めると犬や猫が掘り返して困った（1 人）
- ・ 家族の人数が減って生ごみが少なくなった（1 人）
- ・ 面倒になった（1 人）
- ・ 様々な問題点があった（1 人）



「処理機の使用をやめた方の購入年度別人数」



### 問10 処理機をどこに設置していますか？

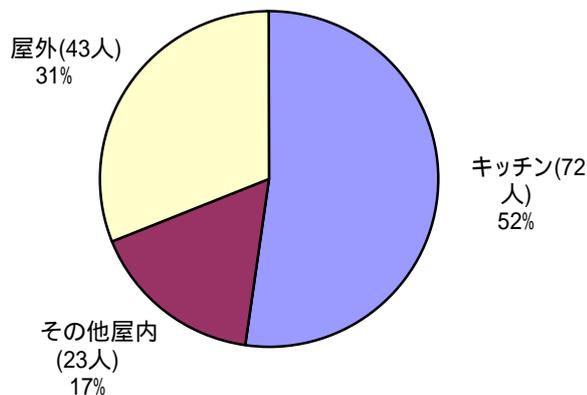
過半数の世帯が処理機をキッチンに設置している。

その他屋内

- ・ 物置
- ・ 廊下
- ・ 勝手口付近
- ・ 洗面所

屋外

- ・ 軒下
- ・ ベランダ
- ・ 車庫（カーポートの下など）



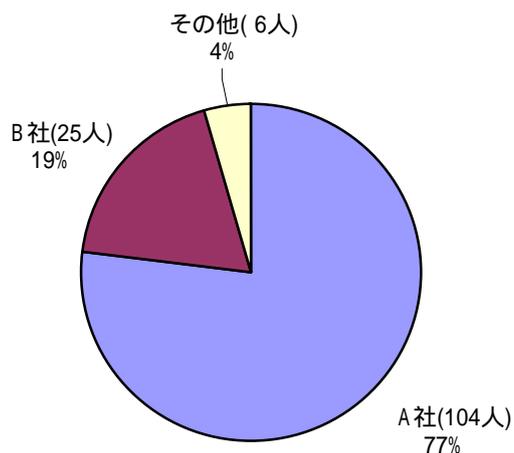
**問 1 1 処理機のメーカーはどちらですか？**

メーカー名の詳細については生活環境課（621 - 5202）までお問い合わせください。

A社製品が最も多く 77%を占めた。

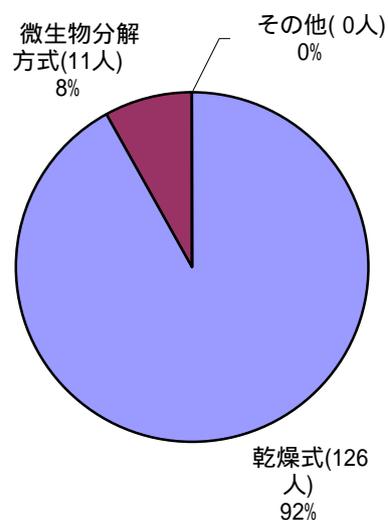
その他

- ・ C社
- ・ 不明



**問 1 2 どのような処理方式ですか？**

90%以上の世帯で乾燥式の処理機を使用しており、最も普及している方式が乾燥式であることがわかる。

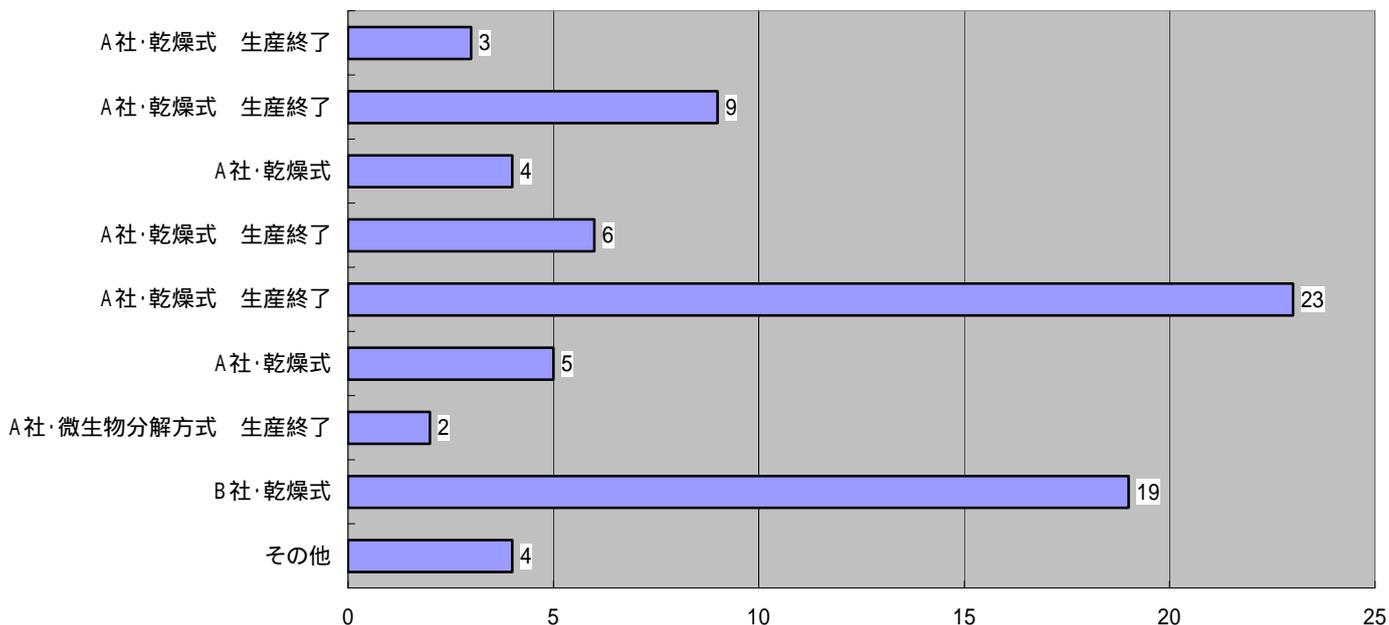


**問 1 3 機種名はなんですか？**

機種名などの詳細については、生活環境課（621 - 5202）までお問い合わせください。

その他

- ・ 不明 など



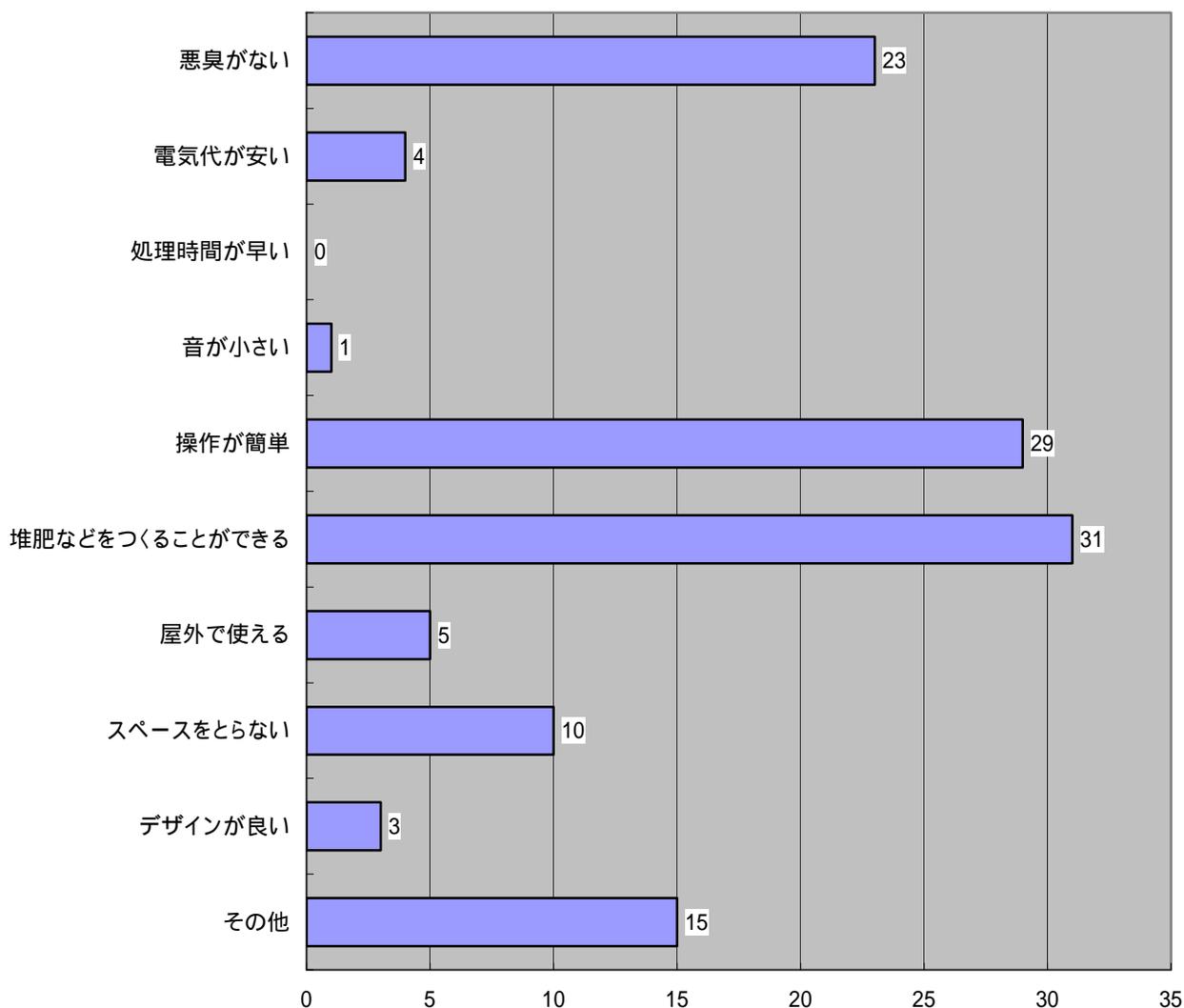
#### 問14 その処理方式または処理機を選んだ理由はなんですか？

その最も大きな理由を1つ選んでください。

「堆肥などをつくることができる」が最も多い回答であり、処理機を選ぶ場合に処理機で出来た生成物を家庭菜園などで堆肥として利用できるかどうか重要であることがわかる。次いで、「操作が簡単」の回答が多かった。

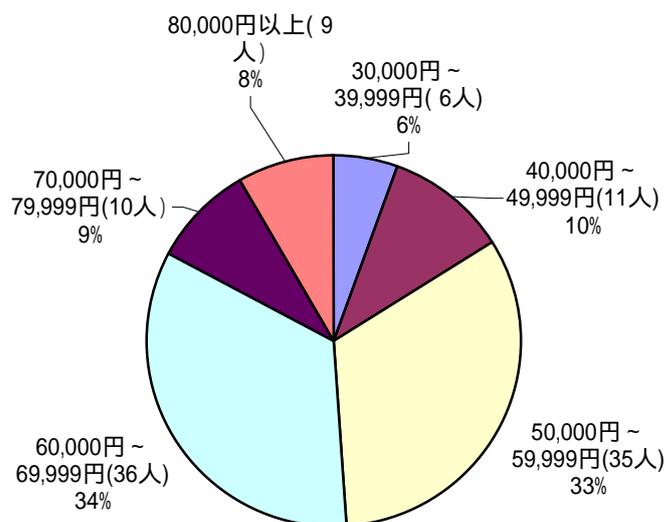
その他

- ・ 犬のフンも生ごみと一緒に処理ができるから
- ・ 販売店のパンフレットを見た
- ・ 容量が大きい
- ・ 微生物分解方式だったが、リコール対象となり乾燥式に無料交換された
- ・ 価格が安い
- ・ サイズがちょうど良い



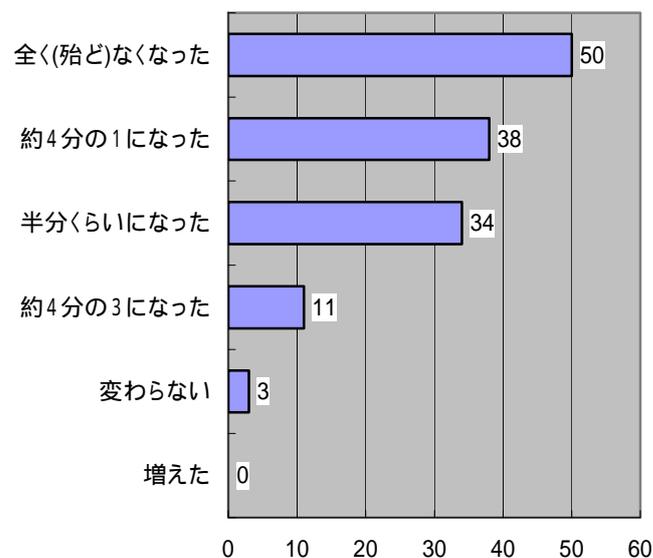
**問 1 5 購入金額はいくらですか？ 補助金額を差し引きせずにお答えください。**

5万円台と6万円台がほぼ同じ割合となっており、併せると67%を占め、処理機はこの価格帯が最も購入されていることがわかる。



**問 1 6 処理機を使用してから、収集日に出す野菜クズなどの生ごみの量はどのくらい減りましたか？**

「全く(殆ど)なくなった」と答えた方が50人と最も多く、次いで「約4分の1になった」が多い。処理機を使用することで、生ごみの減量に大きな効果があることがわかる。



**問 1 7 前問で生ごみ量が「変わらない」または「増えた」とお答えの方にお尋ねします。その最も大きな理由を1つ選んでください。**

6項目の選択肢の中から以下の回答が得られた。

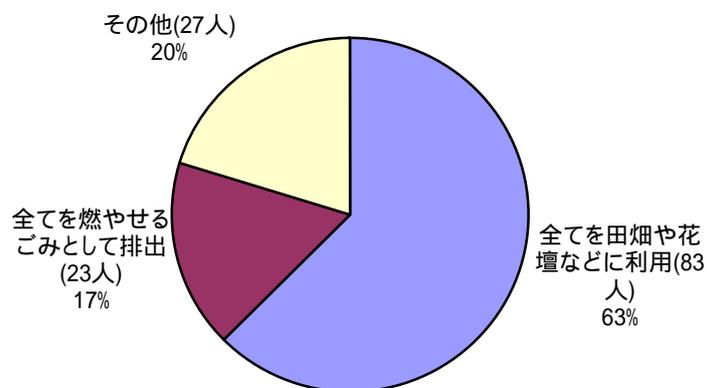
- ・ 「季節によって処理機で分解されにくい」
- ・ 「処理機をほとんど使っていない」
- ・ 「以前から生ごみを田畑や花壇などに埋めていた」

**問 1 8 処理機で出来た生成物の利用方法についてお尋ねします。**

63%の方が生成物を田畑や花壇などに利用し有効活用しているが、全てを燃やせるごみとして排出している方も 17%おり、市の生成物回収制度の周知が必要と思われる。

その他

- ・ 田畑や花壇などに利用しきれないものは、燃やせるごみとして排出
- ・ 市の生成物回収制度を利用
- ・ 知人に譲っている

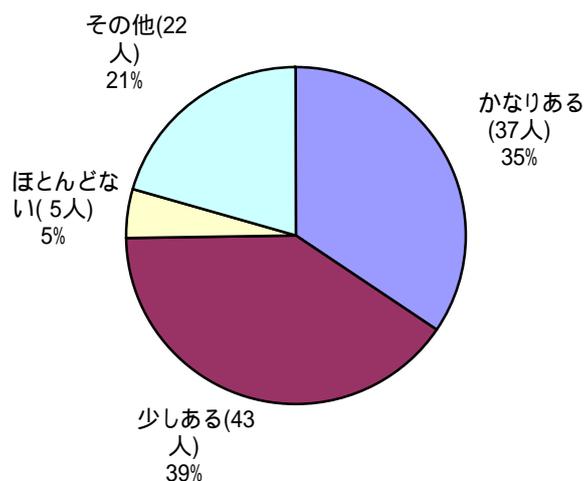


**問 1 9 前問で「田畑や花壇などに利用」とお答えいただいた方に質問です。作物や草花の成長にどれくらいの効果がありますか？**

「かなりある」と「少しある」を併せると、74%の方が生成物は作物や草花の成長に効果があると回答。

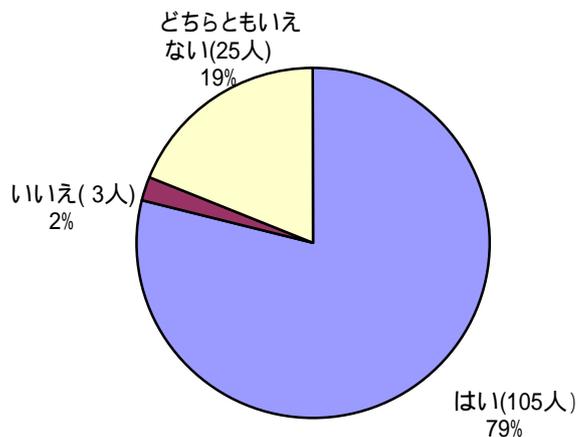
その他

- ・ わからない
- ・ 田畑や花壇を持つ知人に譲っている



**問 2 0 処理機は使いやすいですか？使いやすかったですか？**

使いやすいと答えた方が 79%と なった。

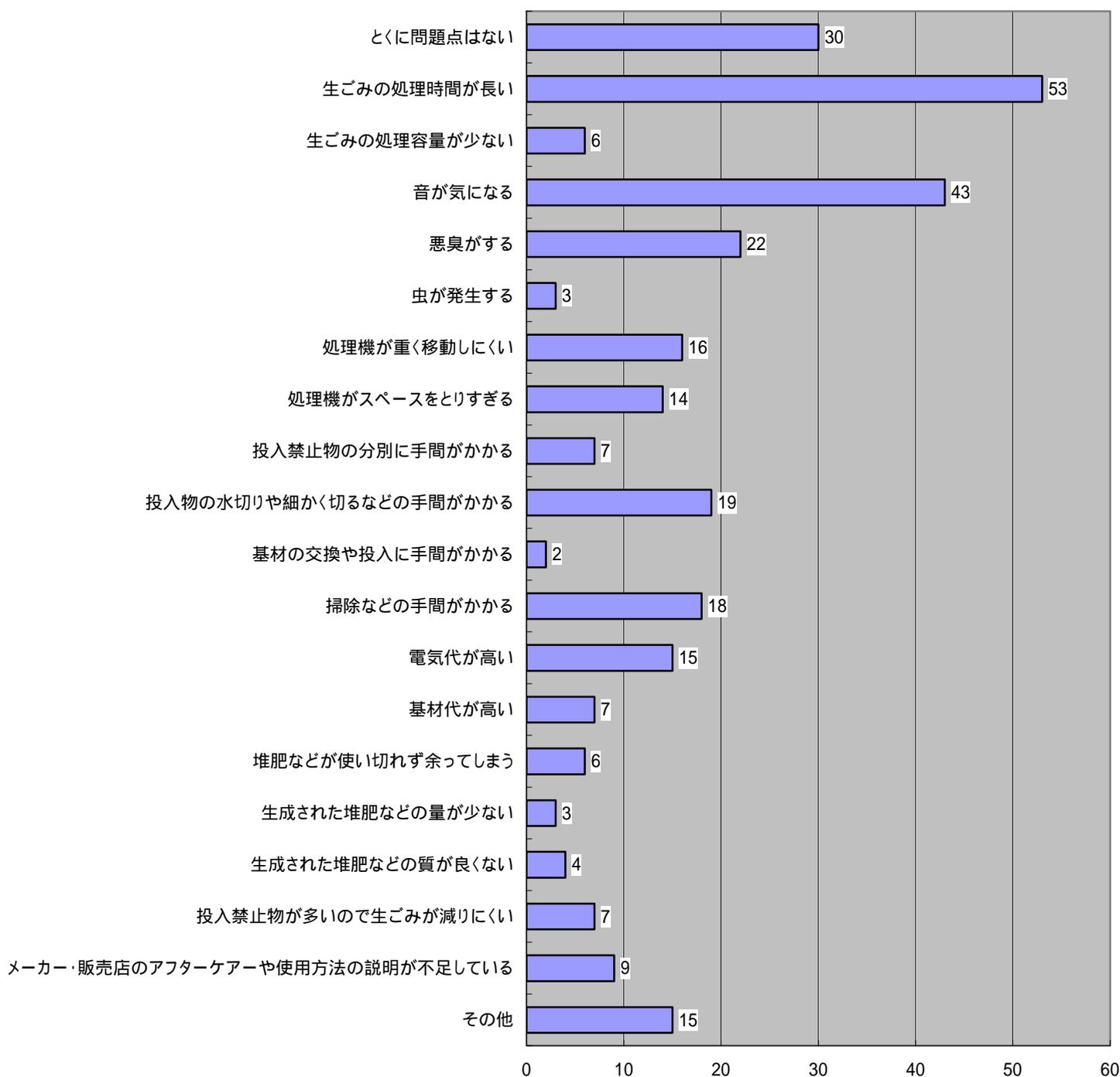


問 2 1 その処理機の問題点の主なものを選んでください（複数回答可）。

「生ごみの処理時間が長い」が最も多い問題点だった。

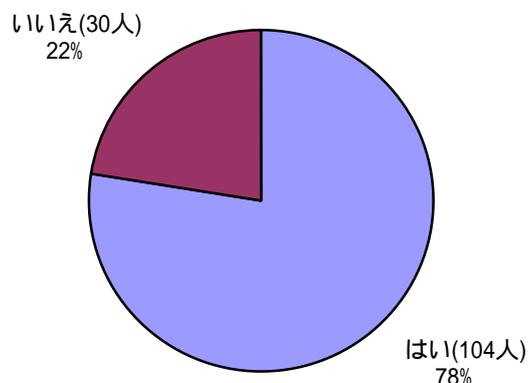
その他

- ・ 生成物を田畑や花壇などに利用した時に悪臭がする場合がある（梅雨期）
- ・ 処理中に処理機から発生する熱がこもる（夏季）
- ・ 結露により故障した（冬季）
- ・ 5～6年間の使用で故障した
- ・ 鳥皮を投入したら処理機内部が油でべたついた
- ・ 処理機の容量が大きく、生ごみを入れるほどでない
- ・ 完全に乾燥させることが難しい



**問 2 2** もし処理機の故障などがあった場合、買い替えをしても使い続けますか？  
また、現在故障などで使用されていない方も、今後再び購入されますか？

78%の方が再購入すると答えており、各世帯で処理機の必要性が高いことがわかる。

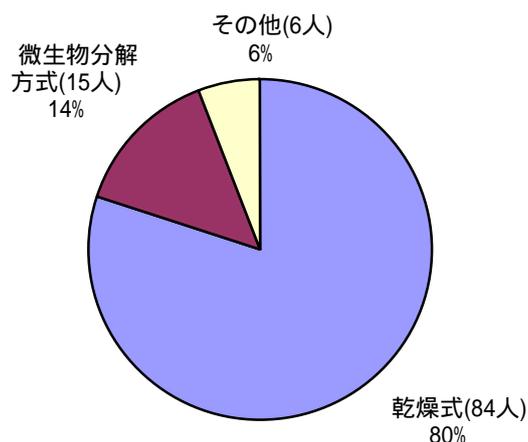


**問 2 3** 問 2 2 で「はい」の方にお尋ねします。買い替える場合の処理方式は乾燥式ですか？微生物分解方式ですか？

80%の方が乾燥式に買い替えると答えており、乾燥式の需要が高いことがわかる。

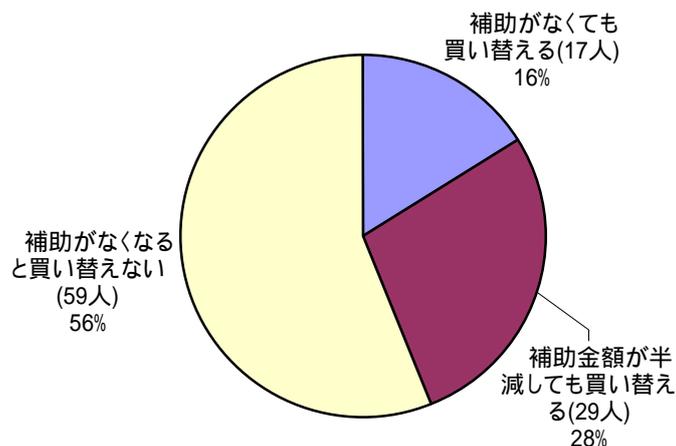
その他

- ・ わからない
- ・ 専門家のアドバイスを受けてから決めたい



**問 2 4** 問 2 2 で「はい」の方にお尋ねします。現在の補助制度が変更されたとしても、買い替えますか？

補助がなくなると買い替えないと答えた方が 56%を占めており、補助制度は今後も継続する必要があると思われる。

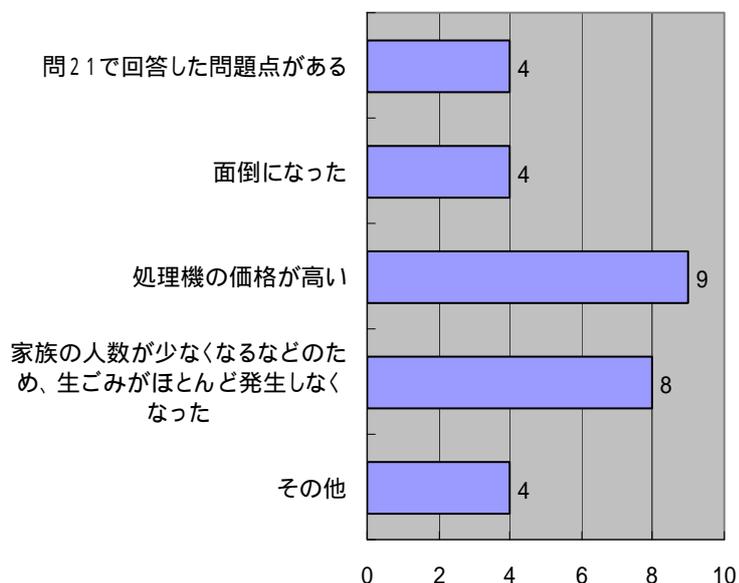


問25 問22で「いいえ」の方にお尋ねします。買い替えない主な理由を1つ選んでください。

「処理機の価格が高い」と答えた方が最も多い。補助金額の増額も含め検討する必要があると思われる。

その他

- ・ 以前使っていたものが故障し、再購入しても故障しそうだから

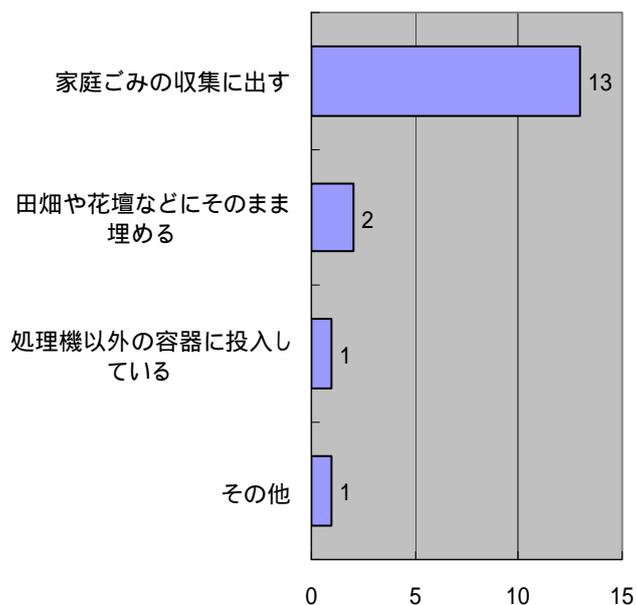


問26～問28は、処理機の使用をやめた方（問9で「いいえ」の方）の回答

問26 現在、生ごみをどのように処理されていますか？

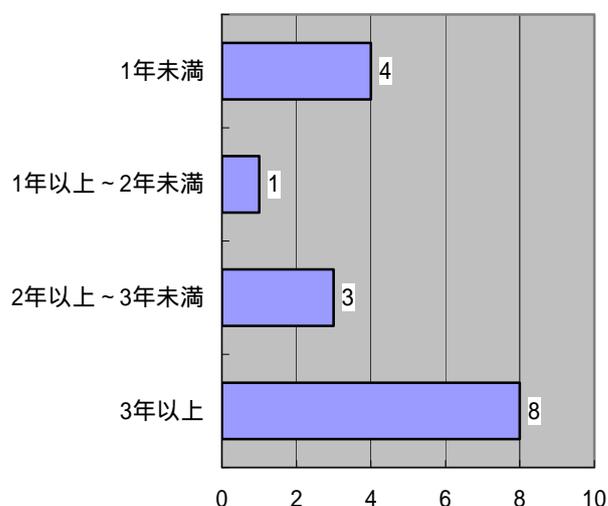
処理機の使用をやめた方の大半が「家庭ごみの収集に出す」と答えている。

その他は未記入。



**問 2 7 その処理機の使用期間はどのくらいですか？**

「3年以上」使用していた方が最も多かった。

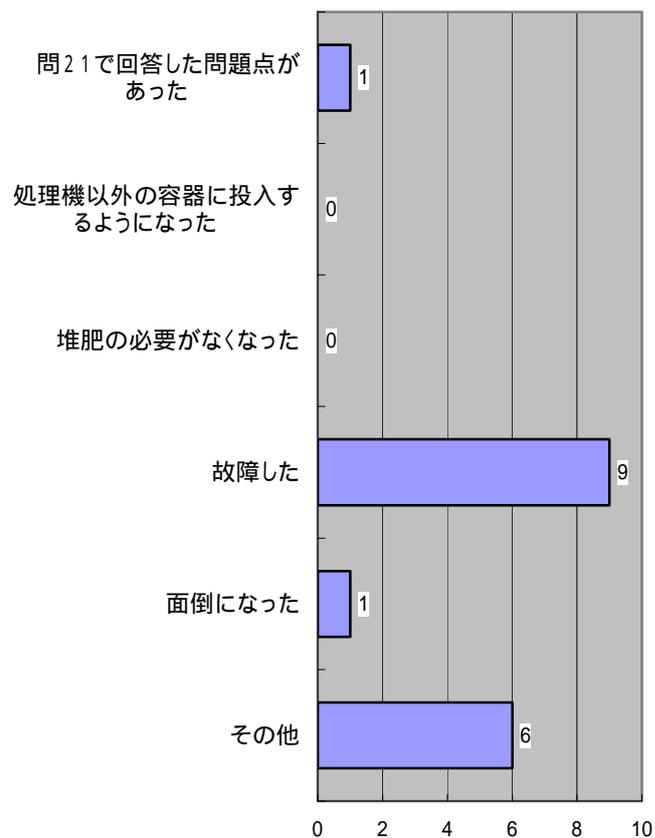


**問 2 8 処理機の使用をやめてしまった主な理由を1つ選んでください。**

使用をやめたきっかけは「故障した」が最も多かった。

その他

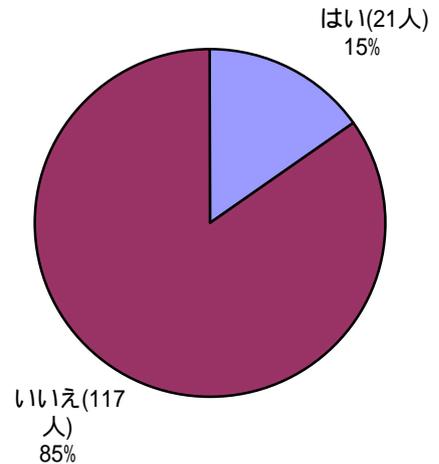
- ・ 生成物を畑に埋めると犬や猫に掘り返されて困った
- ・ 家族の人数が少なくなり、生ごみがほとんど発生しなくなった
- ・ 引っ越し先のマンションにディスポーザーが設置されていた
- ・ 長時間電気を使用し続けることに疑問を感じた
- ・ スペースをとりすぎる
- ・ 処理機の掃除などに手間がかかった



**問29～問34は、全ての方の回答**

**問29 一度補助を受けた方でも、故障などの理由があれば再度申請していただくことをご存知でしたか？**

「いいえ」と答えた方が85%を占めており、ほとんどの方が再申請可能であることを知らなかった。今後は、再申請のルールを明確にし、周知する必要があると思われる。

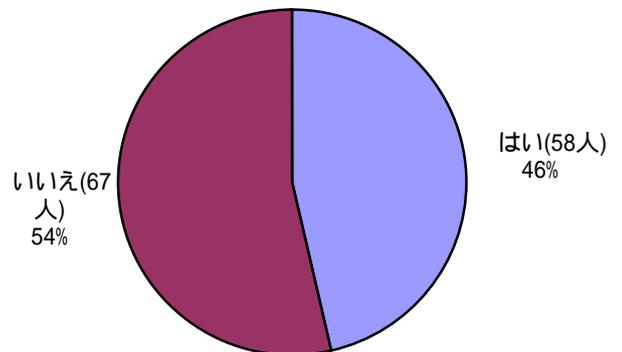


**問30 ごみ減量にむけた取り組みを処理機を使用すること以外にされていますか？**

半数近くの方が、なんらかの取り組みを行っており、市民のごみ減量に関する意識の高さがわかる。

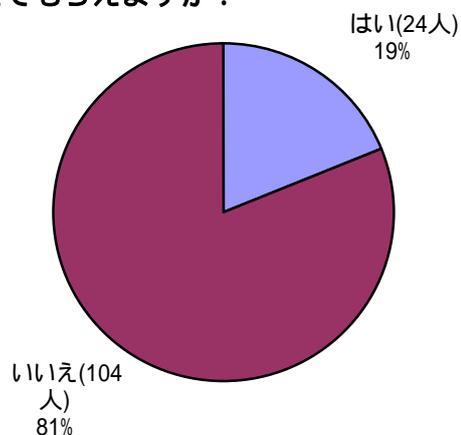
(具体例)

- ・ ティッシュやお菓子の空箱などを分別して、雑誌・ダンボール・紙パックの日に出している
- ・ 詰め替え商品を買っている
- ・ 調理方法を工夫して、食材を最大限活用している。
- ・ 料理を必要以上に作らない
- ・ 無駄なものを買わない
- ・ コンポストを使用している
- ・ 資源ごみを地域の集団回収に出している
- ・ 買い物にはマイバッグを持参
- ・ 廃材を活用している
- ・ 処理機に投入できない生ごみは畑に直接埋めている
- ・ 環境に関する勉強会に参加している
- ・ 庭の草などは畑に埋める



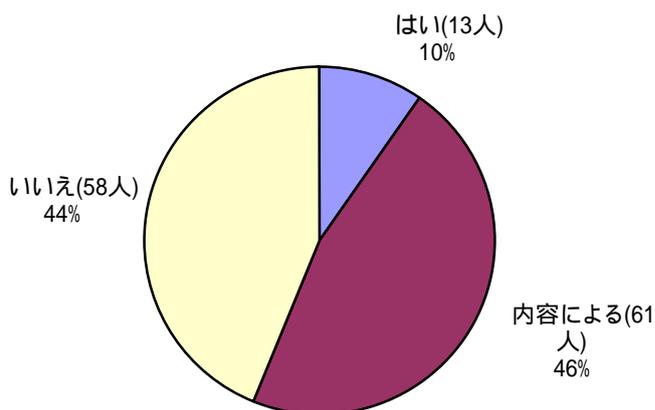
**問3 1 新しく処理機を使いだした市民に対して、使い方を教える機会(講習会や電話で使い方の説明など)があれば教えてもらえますか?**

24人の方から協力していただくとお答えいただいた。



**問3 2 生ごみ処理についての講習会(1時間程度で生ごみ処理に積極的な市民や専門家を招くなど)を開催した場合、参加してみたいですか?**

内容により参加すると答えた方を含め、講習会に参加希望の方は56%になった。



問33 購入を検討されている市民のみなさんに対して、利用者のあなた様から一言をお願いします。

【メリット】

- ・ 生ごみの量が少なくなり、ごみ袋も軽くなりますよ。
- ・ 使い方も簡単ですよ。
- ・ ごみ箱が臭くならないし、虫もわかないですよ。
- ・ ゴキブリを全く見なくなりました。
- ・ コバエがいなくなります。
- ・ 経費がかかるけど便利です。
- ・ 毎日生ごみを処理できるので衛生的です。
- ・ 肥料としても利用でき大変役立っています。長年使用しており、現在は3台目です。
- ・ 出来た生成物は趣味の園芸用として大活躍しています。
- ・ 生ごみは1日で臭くなってしまい、集合住宅では部屋中に悪臭が漂うことがあります。処理機があれば臭くないし、ごみ出しも楽です。是非おすすめ。
- ・ 乾燥式を使っていたのですが、処理機の掃除も楽だったし、乾燥した生成物をまとめて保存しておいて、少しずつ花の肥料に混ぜて使えて良かったですよ。
- ・ ごみ出しの日を気にせず魚が食べられます。燃やせるごみの日に全くごみを出さない日もあります。処理機は高額ですが、集合住宅にはすごくいいですよ。
- ・ 生ごみの臭いや発生などのストレスを感じなくなりました。一度使い始めると手放せなくなりますよ。
- ・ 生成物を堆肥として利用できるのも、お店で購入する肥料が少なくなり経済的でしたよ。
- ・ 魚を処理すると良い堆肥が出来ますよ。
- ・ 1週間分くらいの生ごみを溜めることができますよ。
- ・ 夜間電力を利用すれば電気代もあまり気にならず快適な生活をおくれます。
- ・ 運転時間を夜間(深夜)に設定しているので、音や臭いが出ても気になっていない。
- ・ 排水口にネットを置き、それに溜まった生ごみを処理機へそのまま投入しています。そうすれば、三角コーナーを置く必要もないので、シンクも広々使えます。

### 【デメリット】

- ・ 水切りや、生ごみを細かく切るなどの手間がかかります。
- ・ 面倒なことが苦手な人は処理機の使用はむかないかも。
- ・ 投入する生ごみを毎日少しずつにするなどして、生ごみを一度に大量に投入しないようにしないと、故障しやすい。
- ・ 使用した後はきれいに洗わないと臭くなる。
- ・ ごみの減量に役立ちたいと思って購入したが、処理機自体が故障し、ごみになってしまい辛い思いをした。

### 【注意点】

- ・ 屋外に設置する場合、少し音と臭いがあるので、集合住宅の場合は置く場所に気をつけたほうがいいですよ。
- ・ 設置場所は、屋外で使い勝手がいいところに置いた方がいいですよ。
- ・ 処理機を選ぶときは故障しにくい処理機をおすすめします。コンポストなどを設置できる家庭はこちらもおすすめです。
- ・ 処理機に投入する前の水切りが大事（三角コーナーに一晩置いておくだけで十分です）。
- ・ 置く場所をよく考えてから購入してください。
- ・ 処理機の機能を良く知ってから購入してください。
- ・ アフターサービスがしっかりした業者を選んだほうがいいです。後で維持費などがかかってきます。
- ・ 処理容量、使用電気量などを考慮して購入したほうがいい。
- ・ 家庭での生ごみの発生量と処理機の必要性を考慮して購入したほうがいい。

### 【その他】

- ・ 補助制度があるので、これをチャンスだと思い、是非ごみの減量のために処理機を利用してください。
- ・ 乾燥式の処理機を購入する時に、販売店の方から廃油を先に入れてから、生ごみを入れると容器の内側がさびにくい(痛みにくい)と教えてもらいました。

### 問34 その他 ご意見ご要望

#### 【処理機について】

- ・ 一人暮らしや高齢になると、生ごみの量が減って、処理容量の大きい処理機は使いにくい。
- ・ 処理機購入後3年で故障してしまいました。
- ・ 剪定枝を分解できる処理機があればいいと思います。
- ・ 処理機の電気使用量とCO<sub>2</sub>発生量がわかればいい。
- ・ 1台目は微生物分解方式でしたが、チップを買いに行くのが面倒でした。今は乾燥式で簡単だが、大きい生ごみは細かく切らなければ入らないし、処理機がまわらない。
- ・ 小さく切って水切りをしっかりとしないと、電気代がかさみます。
- ・ 補助制度があるために、処理機自体の値段が下がらないのでは。

#### 【生成物について】

- ・ 生成物で作物を育て、食べてみると甘く感じました。
- ・ 市が生成物を買取り、農業者や園芸者などに販売したらどうか。
- ・ 現在の市の生成物回収システムは、生成物が溜まった時点で市に電話をして、後日回収してもらうというシステムだが、それでは、生成物が少量の場合は電話しにくい。定期的に回収するシステムがあればいい。
- ・ 生成物回収システムをもっと便利にしてほしい。回収のために毎回電話するのは面倒なので、燃やせるごみの日に出してしまっている。

#### 【補助制度について】

- ・ 処理機は決して安いものではありません。買うかどうか迷っていた時に、補助制度があることを知り、購入を決めました。是非この制度は続けていただきたいと思います。
- ・ 購入金額の2分の1(上限3万円)の補助より、補助金額を増やせば、もっと利用者が増えるのでは。

#### 【広報について】

- ・ 補助制度をもっと広報すべき。
- ・ 故障などの理由があれば再度申請できるということを知りませんでした。もっと広報してほしいと思います。また、故障だけではなく、処理機の機種を変更したい場合も再度申請できればいいと思います。
- ・ 生ごみ処理機は面倒なイメージがあったが、使ってみるととても便利だった。補助制度の存在と便利さを伝えると利用者はもっと増えると思う。

### 【ごみの減量について】

- ・ ごみの減量には指定ごみ袋制を導入したらよいのでは。
- ・ ごみを出す場所を町内ごとにまとめればごみは減るのでは。
- ・ プラスチック製容器包装ごみの減量のため、スーパーマーケットや製造メーカーなどへ指導してほしい。まだまだ無駄な包装が多い。
- ・ ごみ減量のために、雑がみの分別をもっと広報したほうがいいのでは。雑がみの分別を知っている人は本当に少ない。

### 【その他】

- ・ 徳島市の事業として大いに評価できる。
- ・ 処理機の利用で生ごみは減ったが、プラスチック製容器包装や雑がみをまじめに分けていると、収集日までにはかなりのごみが家に溜まってしまう。ほとんどの種類のごみを分別せずに焼却できるようになればいいのに。
- ・ シンクに流れ落ちた野菜クズの水切りが大変。良い方法はないですか。
- ・ 都合でまだ使用できる処理機が必要なくなった場合に、中古でもいいという方にお譲りすることができたらいいと思います。
- ・ 各家庭に1台ずつ処理機を設置するようにしたらいい。
- ・ 処理機の使用についての講習会を開催してほしい。
- ・ 食材などに限らず、購入するとき、廃棄するときのことまで責任を持つと思う。「もったいない」の気持ちを忘れないようにしたい。
- ・ 購入前に自宅で試しに使ってみることができたらいい。
- ・ 剪定枝の堆肥化をしたいが良い方法はないか。
- ・ 市民がごみを出しやすいようにするのではなく、回収に来てくださる方が集めやすいように考えるのが普通だと思う。
- ・ プラスチック製容器包装のごみの収集回数を週1回にしてほしい。
- ・ 燃やせるごみの収集時間が遅く、カラスによく漁られる。8:30までに収集してほしい。